

2	法定	自主
	○	

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 9日

横浜市長 殿



提出者

住所 川崎市高津区梶ヶ谷3-13-31

氏名 榑末長組 代表取締役 工藤 尚樹

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 044-888-2068

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	横浜市管轄内工事現場		自主管理事業登録番号 ( 3101 )
事業場の所在地	横浜市管轄内工事現場		TEL(連絡先): 044-888-2068
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年間)		
当該事業場に関する事項			
① 事業の種類	D-建設業 (具体的には) 建設工事・マンション分譲及び賃貸事業		
② 事業の規模  ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	1,297 百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)		
③ 従業員数	43名		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程  ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	廃棄物発生⇒各現場にて分別保管⇒自社又は収集運搬業者により処理場へ運搬⇒中間処理業者により選別⇒再資源化⇒残渣物は最終処分場へ 主には、 ・汚泥＝脱水→再生 ・廃プラ類＝破碎→再資源化 ・紙くず＝破碎→再資源化 ・木くず＝破碎→再資源化 ・金属くず＝破碎→再資源化 ・ガラコン陶磁器くず＝破碎→再資源化 ・がれき類＝破碎→再資源化 混廃＝破碎→再資源化		

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ①収集運搬、処分業者の調査と選定  
 ②委託契約の締結  
 ③分別収集状況の把握と改契善策検討  
 ④社員、協力業者の教育と啓発  
 ⑤監督官庁への各種報告⇒安全課:①・②・③・④・⑤ / 各現場担当者:③ / 環境対策委員会:③・④

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】					
	<table border="1"> <tr> <td>産業廃棄物の種類数</td> <td>8種類</td> <td>* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。</td> </tr> <tr> <td>① 排出量</td> <td>1,681.9 t</td> <td></td> </tr> </table> <p>(これまでに実施した取組)</p> <p>過去の施工実績と廃棄物発生量から現場毎の品目別基準発生量の目標値を設定。目標値を定めることで発生量の低減と分別の意識が向上。(昨年と同様)</p>	産業廃棄物の種類数	8種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。	① 排出量	1,681.9 t
産業廃棄物の種類数	8種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。				
① 排出量	1,681.9 t					
② 計画	【(令和6年度)目標】					
	<table border="1"> <tr> <td>産業廃棄物の種類数</td> <td>8種類</td> <td>* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。</td> </tr> <tr> <td>① 排出量</td> <td>1,598.2 t</td> <td></td> </tr> </table> <p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>具体的取組予定なし。</p>	産業廃棄物の種類数	8種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。	① 排出量	1,598.2 t
産業廃棄物の種類数	8種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。				
① 排出量	1,598.2 t					

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>協力会安全パトロールや環境対策委員会によるパトロールで各現場の分別状況と集積、保管状況を把握し、改善策を指示。</p>
② 計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>今まで同様、混合廃棄物集積用コンフレの中を精査し、混合廃棄物の発生を抑制する。</p>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
① 現状	【前年度(令和5年度)実績】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【(令和6年度)目標】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
① 現状	【前年度(令和5年度)実績】			
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
② 計画	【(令和6年度)目標】			
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和6年度)目標】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		

\* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。

\* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	⑩ 全処理委託量	1,681.9	t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,681.9	t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
	(これまでに実施した取組)		

\* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。

② 計画	【(令和6年度)目標】		
	⑩ 全処理委託量	1,598.2 t	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,598.2 t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	t	
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t		
(今後実施する予定の取組)			
※ 事務処理欄			



別紙処理フロー

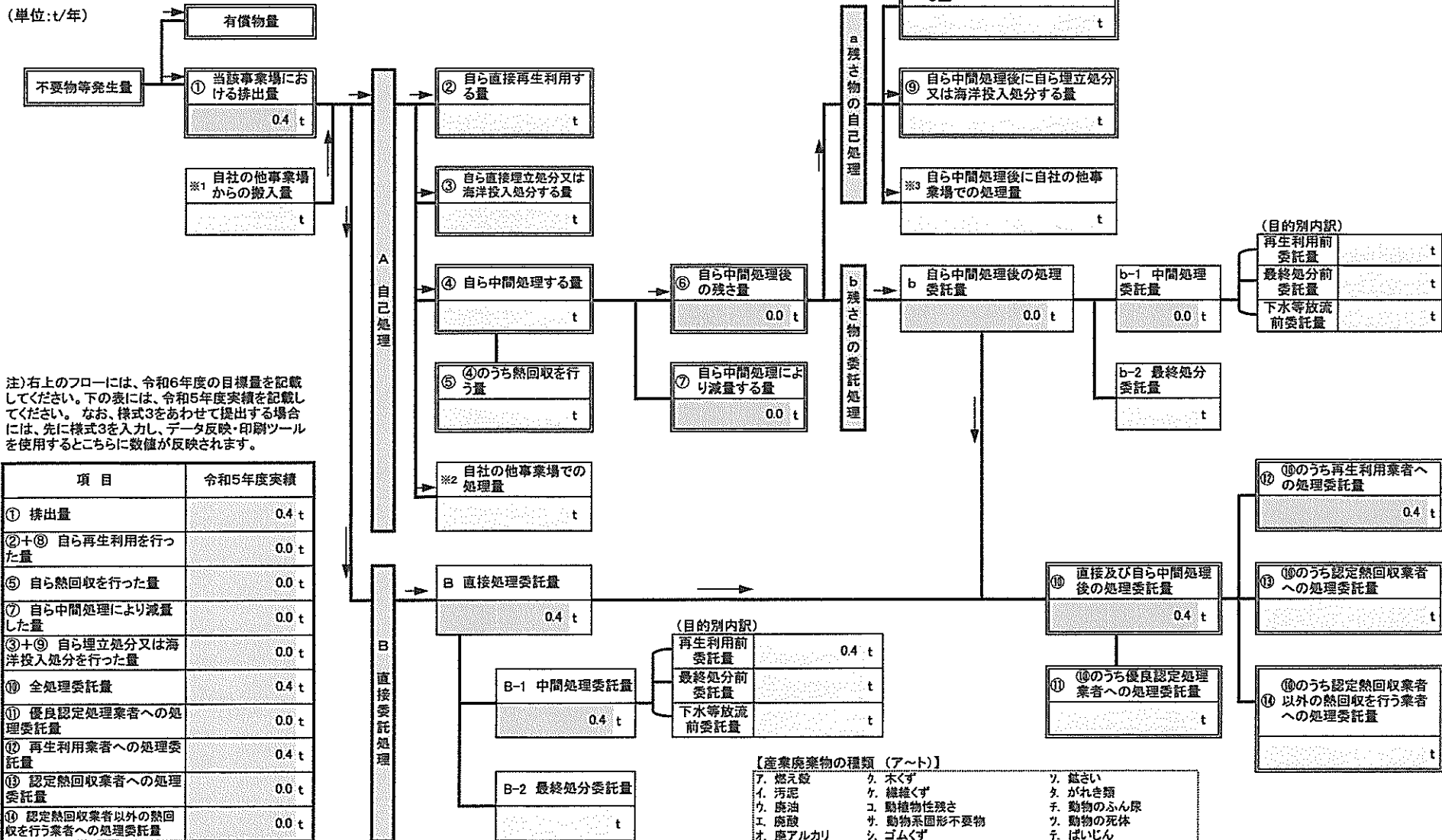
事業場名称： 横浜市管轄内工事現場

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	イ. 汚泥
------------------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	0.4 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.4 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- |             |                     |             |
|-------------|---------------------|-------------|
| ア. 燃え殻      | カ. 木くず              | リ. 鋳さい      |
| イ. 汚泥       | ケ. 繊維くず             | ル. がれき類     |
| ウ. 廃油       | コ. 動植物性残さ           | レ. 動物のふん尿   |
| エ. 廃酸       | サ. 動物系固形不要物         | ロ. 動物の死体    |
| オ. 廃アルカリ    | シ. ゴムくず             | リ. ばいじん     |
| カ. 廃プラスチック類 | ス. 金属くず             | ト. 混合廃棄物その他 |
| キ. 紙くず      | セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず |             |

(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

(目的別内訳)

再生利用前委託量	0.4 t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

⑫のうち再生利用者への処理委託量

0.4 t
-------

⑬のうち認定熱回収業者への処理委託量

t
---

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

t
---

⑭のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

t
---

別紙処理フロー

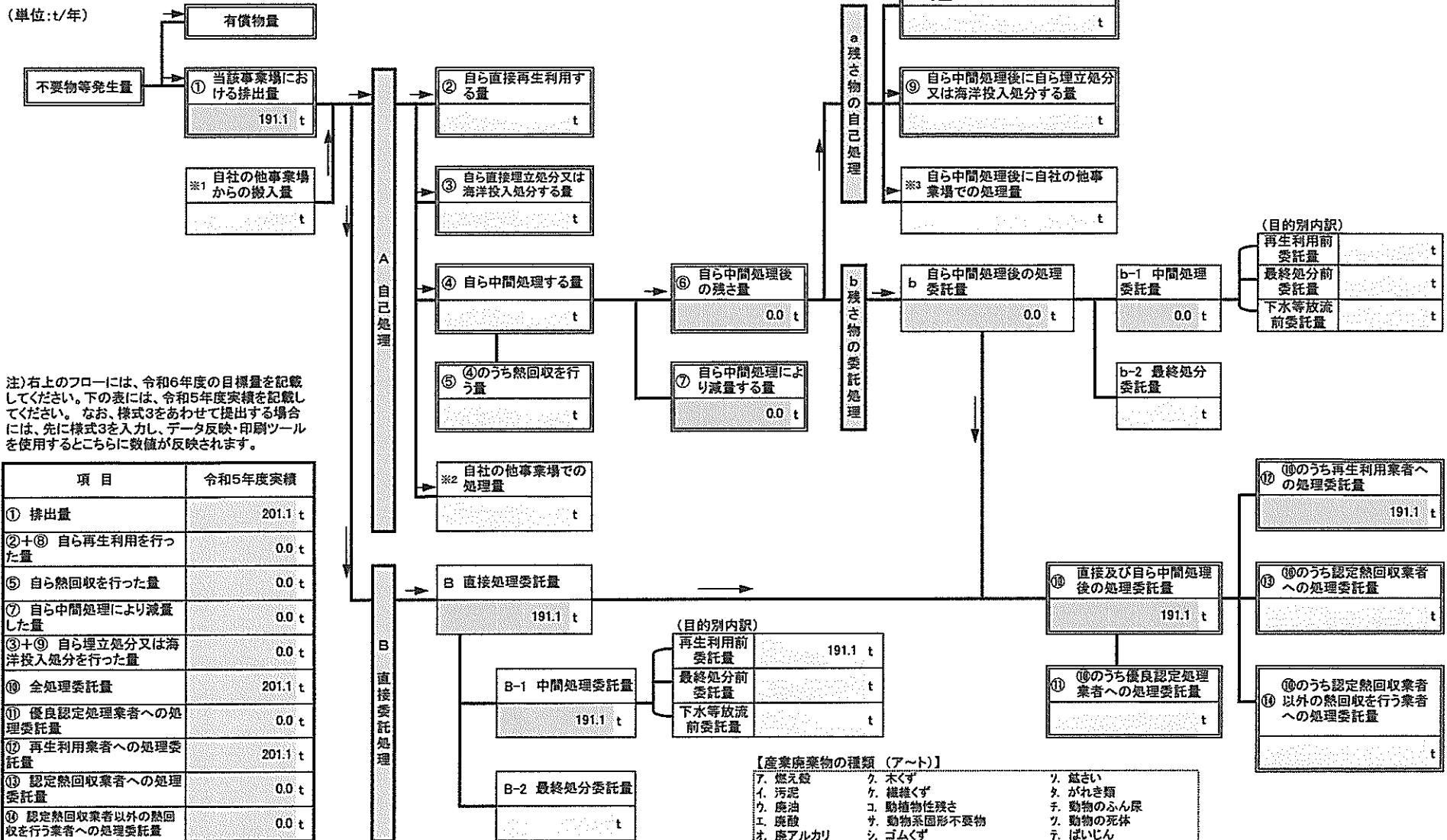
事業場名称： 横浜市管轄内工事現場

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	カ. 廃プラスチック類
------------------	-------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	201.1 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	201.1 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	201.1 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 木くず
  - ケ. 繊維くず
  - コ. 動植物性残さ
  - サ. 動物系固形不要物
  - シ. ゴムくず
  - ス. 金属くず
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. 鉱さい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物のふん尿
  - ツ. 動物の死体
  - テ. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

(目的別内訳)

再生利用前委託量	191.1 t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

⑫のうち再生利用業者への処理委託量	191.1 t
-------------------	---------

⑬のうち認定熱回収業者への処理委託量	t
--------------------	---

⑭のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
-------------------------------	---



別紙処理フロー

事業場名称： 横浜市管轄内工事現場

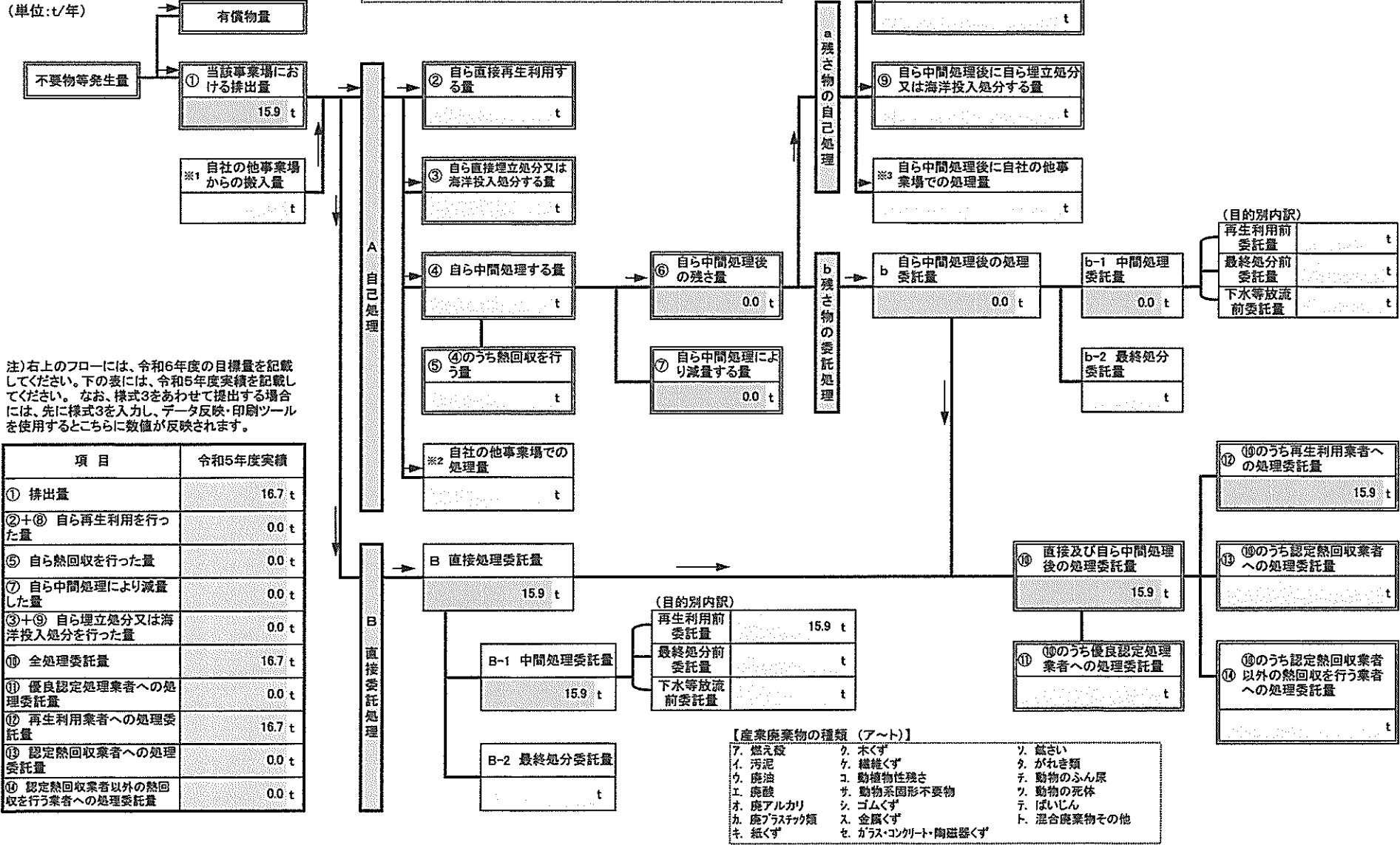
令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	キ、紙くず
------------------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

「紙くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
【該当業種】パルプ、紙又は紙加工品の製造業、新聞業(新聞巻取紙を使用して印刷発行を行うもの)、出版業(印刷出版を行うもの)、製本業、印刷物加工業、建設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	16.7 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	16.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	16.7 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 木くず
  - ケ. 繊維くず
  - コ. 動植物性残さ
  - サ. 動物系固形不要物
  - シ. ゴムくず
  - ス. 金属くず
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. 磁さい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物のふん尿
  - ツ. 動物の死体
  - テ. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

別紙処理フロー

事業場名称： 横浜市管轄内工事現場

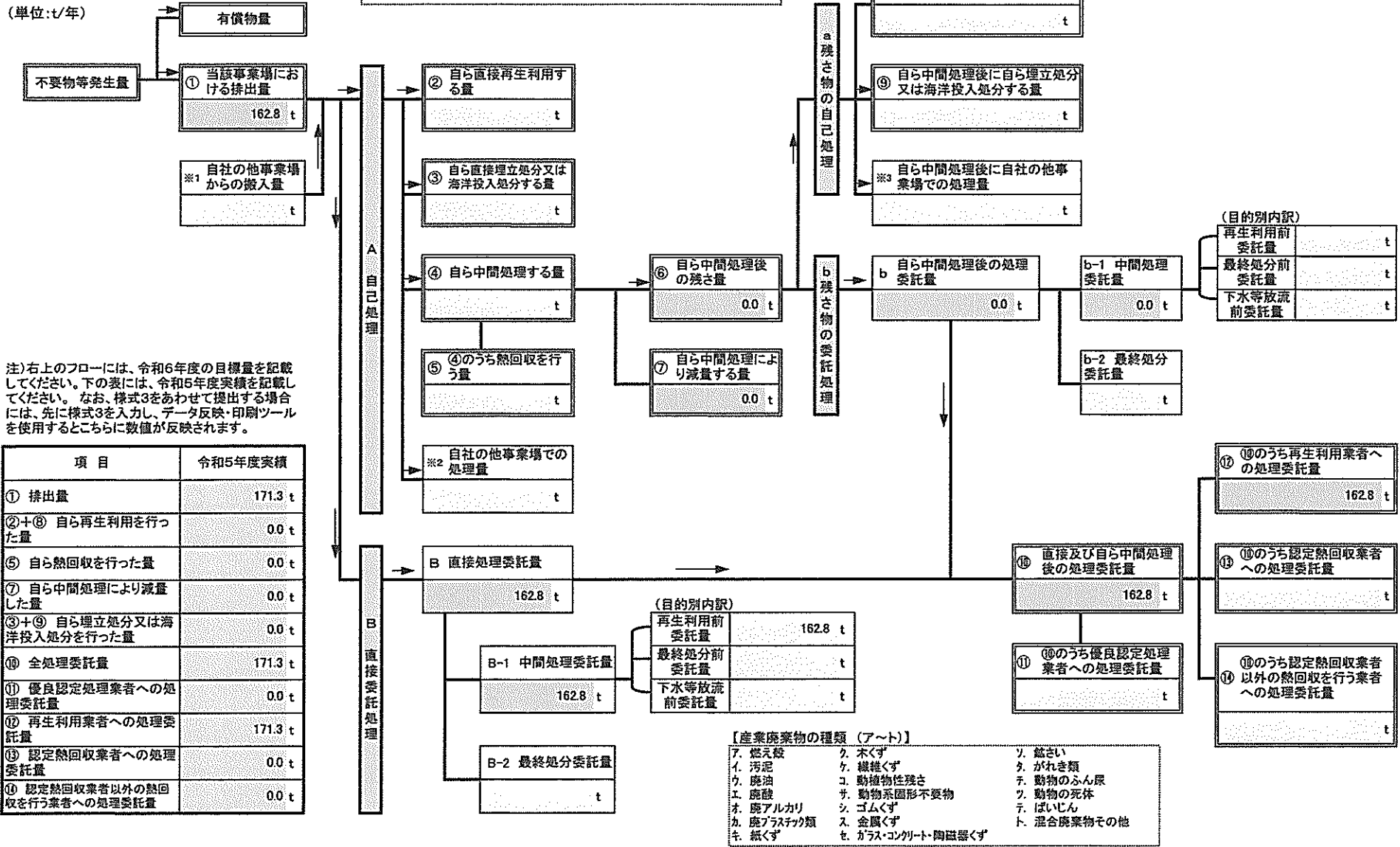
令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ク. 木くず
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

「木くず」には業種指定等があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
 【該当業種】木材又は木製品の製造業(家具製造業を含む)、パルプ製造業、輸入木材の卸売業及び物品賃貸業に係るもの、建設業(工作物の新築、改装、除去に伴って生じたもの)。  
 【全業種対象】貨物の運送のために使用したパレット(パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包用の木材を含む。)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	171.3 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	171.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	171.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 木くず
  - ケ. 繊維くず
  - コ. 動植物性残さ
  - サ. 動物系固形不要物
  - シ. ゴムくず
  - ス. 金属くず
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. 鋸さい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物のふん尿
  - ツ. 動物の死体
  - テ. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

別紙処理フロー

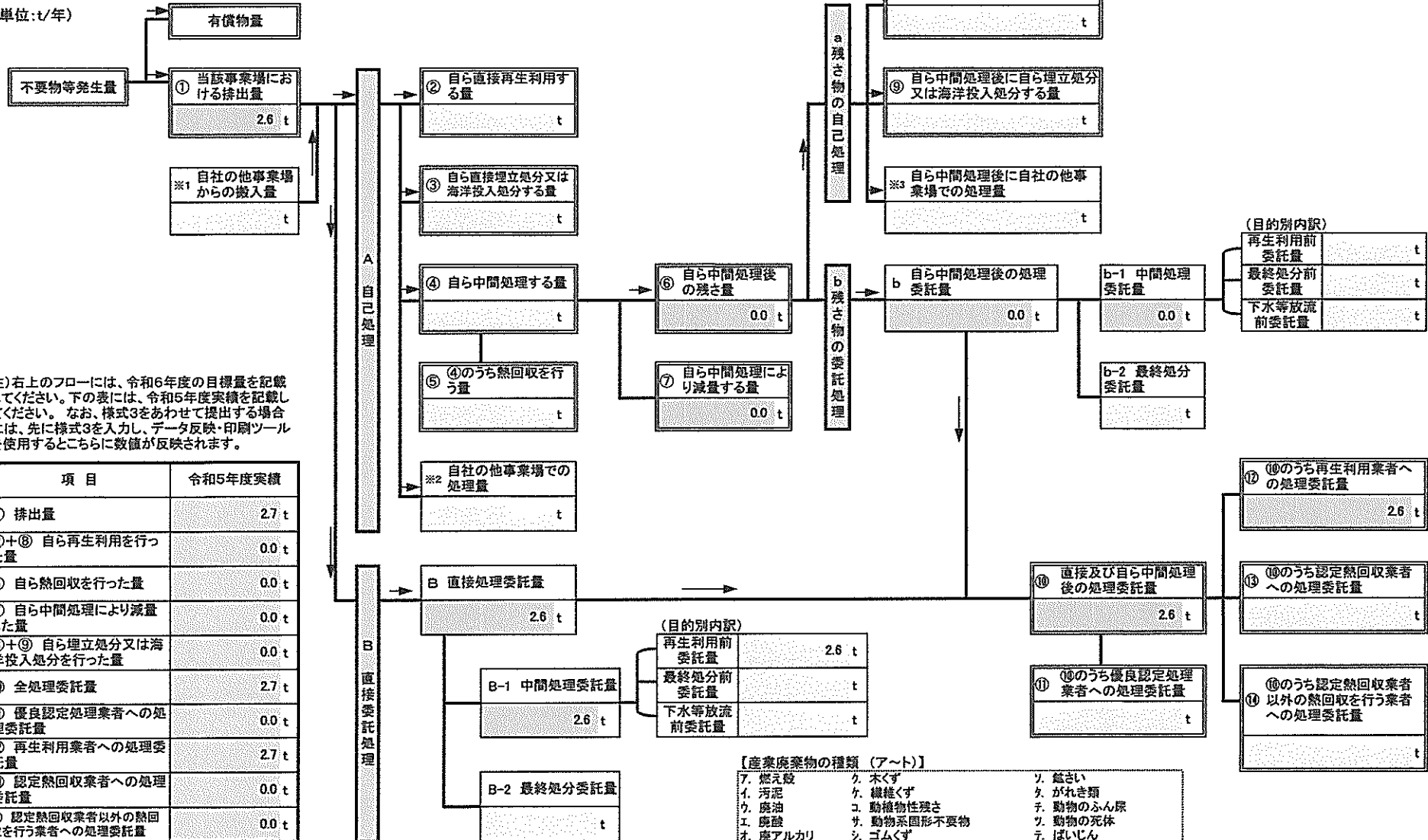
事業場名称： 横浜市管轄内工事現場

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ス. 金属くず
------------------	---------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	2.7 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	2.7 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

ア. 燃え殻	カ. 木くず	リ. 磁さい
イ. 汚泥	キ. 繊維くず	ル. がれき類
ウ. 廃油	ク. 動植物性残渣	レ. 動物のふん尿
エ. 廃酸	コ. 動物系固形不要物	ロ. 動物の死体
オ. 廃アルカリ	シ. ゴムくず	リ. ばいじん
カ. 廃プラスチック類	ス. 金属くず	ト. 混合廃棄物その他
キ. 紙くず	セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず	

別紙処理フロー

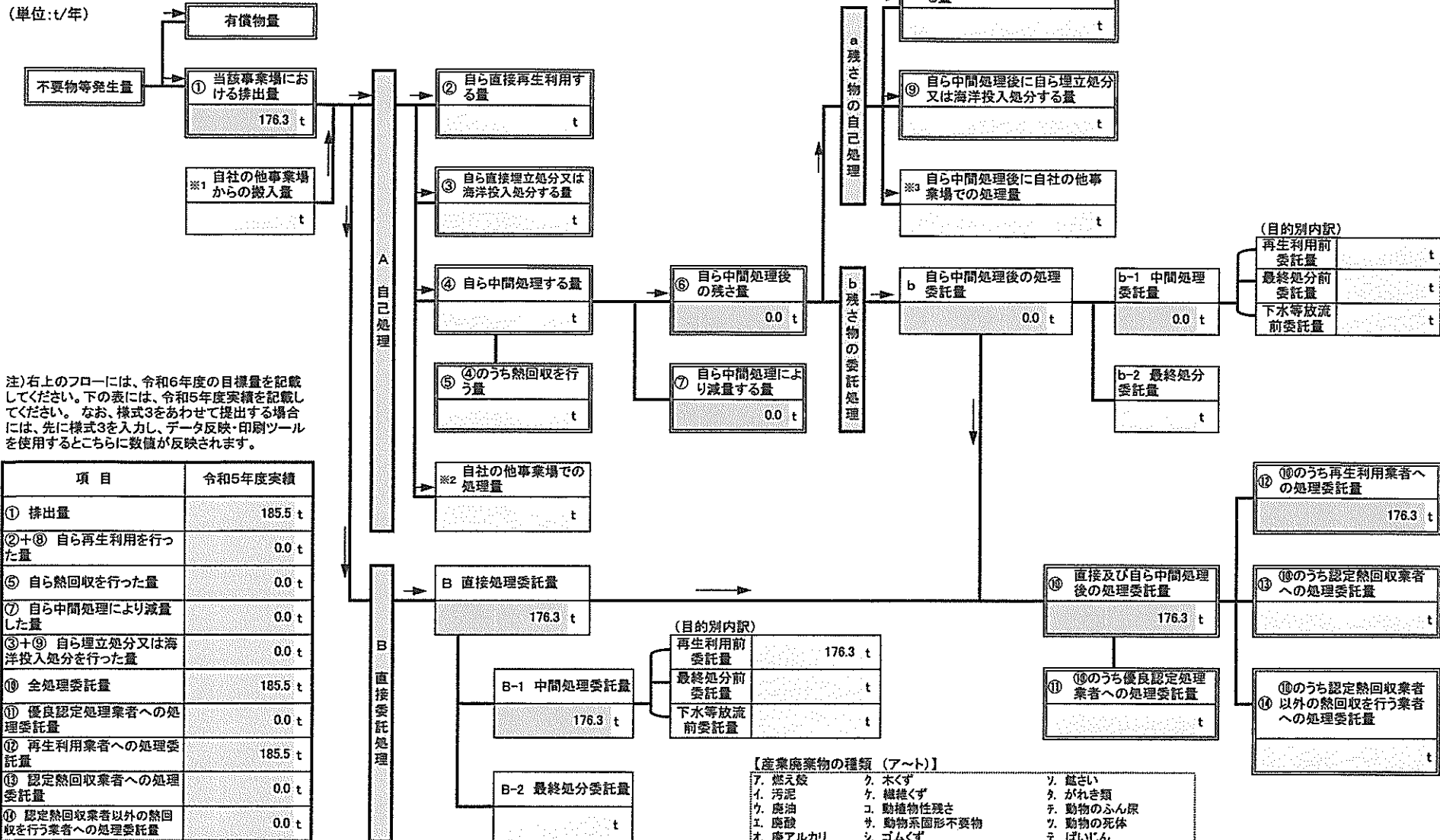
事業場名称： 横浜市管轄内工事現場

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
------------------	---------------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
		○

別紙処理フロー

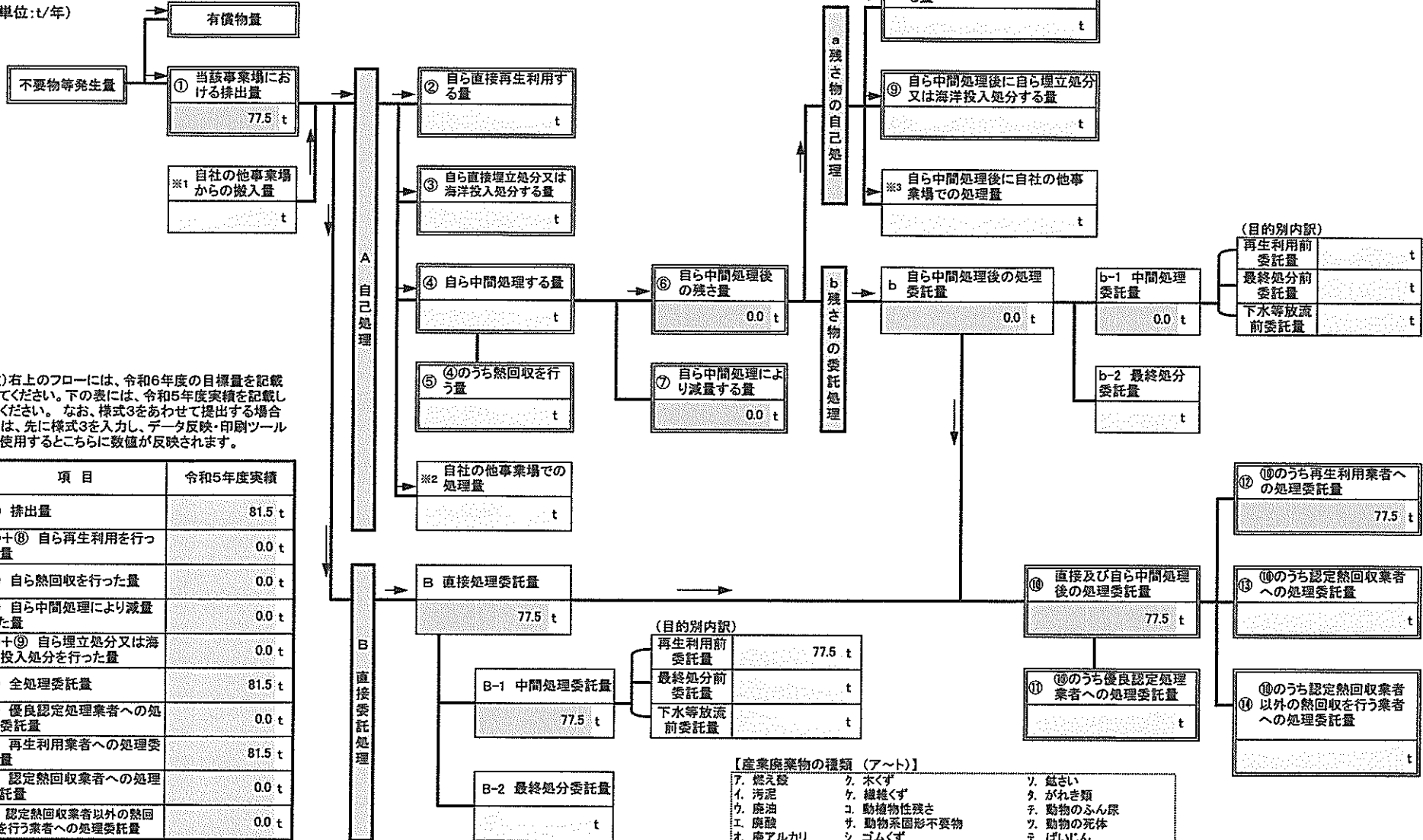
事業場名称： 横浜市管轄内工事現場

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	タ. がれき類
------------------	---------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してください。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	81.5 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	81.5 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	81.5 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 木くず
  - ケ. 繊維くず
  - コ. 動植物性残さ
  - サ. 動物系固形不燃物
  - シ. ゴムくず
  - ス. 金属くず
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. 鋳さい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物のふん尿
  - ツ. 動物の死体
  - テ. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

